

AI 研究センター活動報告

センター長 曹 建庭

埼玉工業大学 AI 研究センターは、一つの AI 研究拠点として人間社会との親和性の高い循環型社会に貢献できる人工知能の実現を目指しており、現実世界の様々な課題に応用できる AI 技術の開発を推進している。また AI 関連の人材育成を行いながら産業界や地域自治体と積極的に人材交流に関する活動を行っている。

今年度 AI 研究センターでは、正智深谷高校交換留学生の見学、熊谷工業高校情報技術科の見学実習、メディカルクリエーションふくしま 2023 展示会の出展及び AI 研究センター講演会の開催などを実施した。

令和 5 年 9 月 11 日、正智深谷高校交換留学生(オーストラリア)3 名と担当教員 2 名は AI 実験室で見学体験を実施した。令和 5 年 11 月 21 日、熊谷工業高等学校情報技術科 1 年生に AI 実験室を公開し、教員 2 名を含め計 43 名であった。見学体験の内容は、AI の原理、仕組みについてビデオを映しながら説明し、ロボットや脳波計測などを自ら操作した。体験型の模擬授業は、生徒達と担当教員に好評であった。また、高校卒業後の進路を就職と決めていたという生徒から、「大学へ進学したくなりました。」との声が聞かれた。



令和 5 年 11 月 1 日--2 日の間にメディカルクリエーションふくしま 2023 展示会が開催され、本大学 AI 研究センターの展示品として、AI と脳計測信号処理(脳波解析)のコンビネーションである脳波判読(脳死判定)、視覚誘発電位を利用した、脳とコンピュータのインターフェース (BCI: Brain-Computer-Interface)である脳波で電話をかけるシステム、脳波で電動車椅子を動かすシステムを出展した。現場で脳波の計測と解析携帯システムも実演した。



令和5年12月5日に本学26号館 大会議室を会場として、AI研究センター主催の講演会を開催した。今回は、事業創造大学院大学 産官学連携担当副学長、同事業創造研究科 教授の黒田 達也先生をお招きし、「AI革命の本質と社会へのインパクト」というテーマで講演をした。黒田先生の講演では、AIの話題を中心に、歴史、生成AI、ChatGPT、これからのAIなど、幅広く説明した。また、ChatGPTの実演を交えながら解説し、参加者は楽しみながら真剣に聴講していた。当講演会は、本学ホームページのみで広報を行ったが、学外からの聴講者を含め51名の方々に出席した。参加者には実りのある講演会となった。

